

脱原発政策実現全国ネットワーク NEWS

NO 113

脱原発政策実現全国ネットワーク事務局
〒573-0028 大阪府枚方市川原町1-5 ストップ・ザ・もんじゅ気付
Email:stopthemonju@nifty.com
TEL&FAX 072-843-1904
郵便振替 00940-6-141492

2022. 11. 14

10.26 院内集会



原発・核燃サイクルの即時中止を
省庁・全国・市民・議員の院内集会



ヒアリングの様子



講師 田窪雅文さん



国会議員 菅直人 逢坂誠二 山崎誠



岩渕友 福島瑞穂 大河原雅子 大石晃子 の皆さん



意見広告へのお礼とお詫びとお願ひ

10月中旬にスタート レンジたが、全国から連日 続々と振込みを頂き、11月14日で、
181名、55団体の方々からご協力で、851,000円となりました。
本当にありがとうございます。

しかし、目標額には、まだ足りません。お名前の掲載の〆切は、11月30日
です。ぜひぜひ周りの方にも広めて下さい。額面にかかわらず、カバーの方も、
こちらは、12月以降も継続します。どうぞよろしくお願ひします。
尚、A4のカラーチラシの振り込み用紙が、印刷の段階で、サレ
繕さされたため、機械に通らす「大変ご迷惑をおかけして。
本当に申し訳ありませんでした。今後、このA4カラーチラシの、
振り込み用紙を切り取る際には、右に5ミリ、上に2ミリほど、
大きめに切って、お使い下さるようお願いします。

周りの方に、そのようにお伝え下さいますよう、お願いします。
紙面作りは、最終段階で、昨日の会議で、多くの意見を頂き、カラーで、かなり
イニシャルの読みもへに出来そうです。12月11日(日)に、無事掲載されたら、又、
みなさまに、コピーしてお送りする予定です。ぜひぜひご協力よろしく!!



11.26 西日本集会にぜひ!

コロナの状況をにらみながら、着々と準備を進めています。

カテリーナエンは、日本へうたヒ、ウクライナへうたを合わせて、5曲ほどモードトーク
も入れながら、歌って下さる予定です。まだ、チケットを申し込まれていな方は、
今後は、「電話予約」で、よろしくお願ひします。

10.26 院内集会のお礼と報告

今回は、衆議院の山崎誠議員と、事務所の皆様に、大変お世話になりました。
他、多くの皆さまのご協力を得て、盛り沢山の内容をこなすことが出来ました。
北海道から九州まで、全国から要望にかけつけて下った皆さん。

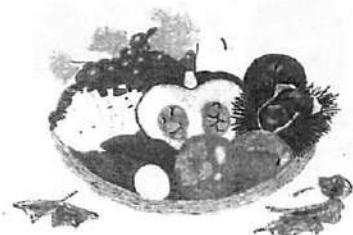
パネラーのみなさん、スタッフのみなさん、講師の田辻さん、国会議員のみなさん、
お忙しい中で、本当に、ありがとうございます。

講演の田辻さんの報告は、録音の音声が聞きとりにくく、今号のニュースには
テープおこしが間に合いませんでした。申し訳ありません。尚、せっかく作って下った
カラーのレジュームは、沢山残部がありますので、ぜひお求め下さい。

議員の皆さまから頂いた貴重なご発言も、今後のとりくみに
活かしたいと思います。財政的には、交通費など、多額の
経費を要し、参加者が、マスコミ、省庁職員を入れても
100人で、かなりの赤字となってしまいます。

今後の計画も、再考したいと思います。

池島



六ヶ所再処理工場のアキレス腱

山田清彦

最近、日本原燃が市民からの質問に答えないようになった。利用者の電気代から再処理費用を支えて頂いているのに、そのことを忘れて、説明責任を果たさない。そこで、今回規制委員会との交渉に期待感があった。

②当初計画では原発から取り出して4年冷却して再処理するとしていたが、最近は15年冷却したもの再処理する方針に変わった。その結果、7月2日の高レベル放射性廃液の冷却不能8時間についても、大きな問題とはならなかったとの認識が示された。

①ガラス固化が進まないと再処理が出来ないことは認識しており、再処理竣工してもせん断は後回しにして、先にガラス固化出来るかに彼らの関心があることは分かった。

③再処理工場の運転期間に縛りがないそうだが、先ずは12ヶ月を超えない時期に定期検査をし、20年までは運転して行き、その後10年までの検査をしていくそうだ。第二再処理工場の計画が全く示されていないが、ずるずると六ヶ所再処理工場が60年以上運転される可能性もあると思われる。

なお、再処理工場の設工認の審査が遅れていることについて、担当者から「このまま数年はかかりそう」との言葉があった。11月に設工認の2回目を出して、年内には26回目の延期幅を日本原燃が示す予定だが、竣工は「数年掛かる」設工認の先になると予感される。

年内に延期幅が示されても、実際はもっとかかる可能性が高い。
そんな時に、何らかのトラブルが起きたら再処理工場は、竣工しないままに止まるところを確認しました。それはおそらくは、ガラス固化工程で、頻発するのではないか？早く再処理計画を止めたい。



「1 六ヶ所再処理工場は震度6強に耐えられるのか」

三陸の海・岩手の会 永田文夫

内閣府中央防災会議の日本海溝巨大地震対策検討ワーキンググループの報告書(以下「報告書」)では六ヶ所村の推定地震動が震度6強(830~1500ガル)と想定されているが、再処理工場はこれに耐えられるのか。

現在は700ガルに変更されているが、建設当時の設計基準地震動は375ガル。主要工程は375ガルで作られ、汚染されたところは耐震出来ていないのではないか。山崎誠議員(立憲)8月提出の質問主意書「六ヶ所再処理工場の施設設備は耐えることができるのか」に国は答えずに済ましてきました。



その後「報告書」は工場沖合日本海溝の巨大地震のMwマグニチュードを9.1と評価していたこと、一方日本原燃は東日本大震災と同じ9.0として評価しておりエネルギーの規模が約1.4倍少ないこと。また「報告書」では「公共施設等の耐震化を震度6強以上の揺れに対しても、余裕を持たせることも検討する必要がある。」と求めていることがわかりました。

更に青森県のMw9.0の海溝型大地震独自調査「平成24・25年度青森県地震・津波被害想定調査」があり。再処理工場の敷地は殆どが震度6強の範囲に含まれていることがわかりました。

このように海溝型地震で内閣府や青森県の防災調査で震度6強とされている事実から防災上も工場の耐震安全審査を行うことを強く求めました。会場から多くの声が上がりました。しかし課長補佐級担当官は立場上答えることができませんでした。このことを上司にきちんと伝えるよう会場から求められました。

終わりに山崎誠議員から、この件について国会で質問しますとの発言あり、私たちの願いがかない喜んでおります。

「II 原子力政策について」の質問の答弁を聞いての感想

松久保肇



岸田政権の原子力政策、原発・原子力施設への攻撃への対応について問いました。驚いたのは、国民保護法105条に規定されている「武力攻撃原子力災害」においても、計画上、通常の原子力災害とほぼ何ら変わりのない避難計画しか存在しないということです。攻撃が行われている中での避難は容易ではなく、武力攻撃が予測されるような状況では事前避難もあり得ると思いますが、そのような点は考慮されていません。また「武力攻撃原子力災害」における損害の補償について質問しました。原子力損害の賠償に関する法律では、一般的な事故は事業者の無過失無限責任とされていますが、社会的動乱によって生じた事故については免責されています(3条)。一方、国はそのような場合に必要な措置を講じることとなっています(17条)。この必要な措置とは何かを問いましたが、そのような状況になってみないとわからない、と検討していないに等しい回答がありました。

「II—2 使用済み核燃料の安全保管」について

内藤新吾



必ず巨大地震の襲う浜岡原発に関して、静岡県の川勝知事でさえ市民たちの声を聞いて2014年には使用済み核燃料を乾式貯蔵に変えていくことを求めたということを、先日の集会後に講師の田窪さんより教えてもらった。よかったです。私が静岡にいたのは2011年3月末までだったが、一緒に活動していた仲間たち、特に女性たちがその後も頑張ってくれたことをブログなどから知った。乾式貯蔵については既に、中部電力が2009年に浜岡の1、2号機廃炉を決めたとき、6号機のリプレースもセットの話ではあったが、その説明書には使用済み燃料の乾式貯蔵プレースの設置も提案されていたので、関心ある市民たちは知っていた。そして県知事でさえ8年も前に、乾式貯蔵への変更を要望していたのである。六ヶ所や各地でギッシリの原発も、早急に考えていただきたい。

震災のずっと前より、様々な機会で原発問題の政府申し入れを経験しているが、最近は特に、国の役人たちが今まで以上に自信を持っていないことを感じる。それは、あまりにもデタラメだらけの核燃サイクルを、弁護しようにも無理があるからだろう。

しかし、仮にも、例えば規制委でいえば、これは原子力推進の経産省下の保安院では厳しいチェックなどできないだろうということで、経産省から離されたのだから、推進側の弁護などする必要はないわけで、国民目線に立って厳しくチェックすればいいだけなのに、そういう意識が殆どないところは本当におかしい。ま、私たちは、当たり前のことと言い続け、相手が方針を変えるまで手を緩めない。悪は、いつまでも続くものではない。

規制委、規制庁は、プール保管より乾式の方がより安全と言いながら、リラッキングについて全く何の問題もないという。その矛盾をついても、誰も反論もせず下を向くばかり。9炉心分という圧倒的な量のリラッキングは放射能量にして、一体どれほどの量になるのかたいへん不安に思う

乾式について事業者は、空いたところへ新しい使用済燃料を入れようと再稼働を狙っているので、それではリスクの軽減にならず、より危険性を増すことになる。ただでさえ膨大な核のゴミを、これ以上増やさないためにも、再稼働を絶対に認めないよう、強く要望した。

池島英紀子



2022年10月26日

内閣総理大臣 岸田文雄様

大間原発訴訟の会

泊原発を再稼働させない・核ゴミを持ち込ませない北海道連絡会

要望書



1. 大間原発の建設を中止してください

世界に例のないフル MOX の実用炉を、通常の原発の運転経験すら持たない電源開発が建設・操業するのは余りに危険です。事故が起きれば青森県はもとより、北海道民の生命、財産を奪い、北海道経済に壊滅的な打撃をあたえます。核燃料サイクルの破綻を認め、プルトニウムの消費を目的とする大間原発の建設を止めてください。

2. 北海道電力泊発電所をはじめ、全ての原発を廃炉にしてください

5月31日、札幌地裁は北海道電力泊原子力発電所を再稼働した場合、住民の人格権が侵害されるとし、原子炉の運転差止めを認めました。国は原発再稼働・運転期間延長・新增設に前のめりな政策を改め、全ての原発の廃炉へと方針を転換し国民の命と暮らしを守ってください。

3. 寿都・神恵内で行われている核のゴミ地層処分のための調査を止めてください

北海道には特定放射性廃棄物の持ち込みを拒否する道条例があります。国と NUMO はそれを蔑ろにし、道民はもとより各自治体住民の意見さえきかず、1首長、数人の議員の意見のみをもって最終処分場建設のための文献調査を開始しました。また、この調査の根拠となる最終処分法は、選定のための客観的基準も安全確保のための基準も不十分な欠陥法です。国はこのような欠陥法に基づく調査を止め、核ゴミの最終処分について根本から見直してください。

4. 幌延深地層研究センターでの研究を終わらせ、約束どおり早急に埋め戻してください

日本原子力研究開発機構は20年程度という当初の約束を反故にし、NUMO を参加させての国際共同研究を開始しています。道条例・三者協定を守り、早急に埋め戻してください。

5. 原発由来の核汚染物質の北海道への持ち込みをこれ以上続けないでください。

室蘭への廃炉金属、福島第一原発事故由来の PCB 廃棄物の持込みなど、道民の同意も十分な説明すらないまま行われてきた核汚染物質の北海道への持ち込みを止めてください。

以上

令和4年10月26日

内閣総理大臣 岸田文雄様



さようなら柏崎刈羽原発プロジェクト
事務局長 山田 秋夫

柏崎刈羽原子力発電所の抱える問題点と要請事項

- 1) 柏崎刈羽原発は、2007年7月に発生した中越沖地震により各号機と敷地に大きな損傷を受けている。その後各号機の修復工事が行われたが、昨年6号機の原子炉建屋に接続する大物搬入建屋の杭頭部の鉄筋が破断、変形していたことが発覚した。原子力施設が立地する地盤は若い世代に属し、中越沖地震以来建屋の微動が止っていない。直下型の中越沖地震で損傷を受けた施設は、将来発生する地震に対して極めて脆弱であり、再稼働は福島第一原発事故のような大事故に発展する危険性が高いので、再稼働は絶対に行わないこと。
- 2) 柏崎刈羽原発の使用済み核燃料プールは満杯に近い状態であり、放射性廃棄物の処分方法が決まっていない原発の再稼働は、原子炉建屋の危険性を増すばかりでなく、将来に大きな負担を残すことになる。
- 3) 原発周辺の自治体に避難計画の策定が求められているが、具体的に避難受け入れ先などの調整は全く行われておらず、避難計画の実効性が全くない状況である。また、風向きによって原発より30km以遠の自治体にも放射性物質が飛んでいくが、30km以遠の自治体の避難計画が全く作られていない。
県が委託した原子力災害時避難経路阻害要因調査では、UPZ内の90%の住民が30km圏外に脱出する時間は通常時でも4日程度であり、積雪時や地震時で道路が十分使えないときはさらに時間がかかり、原子力災害時の住民の避難は現実的でない。
上記により、原子力災害時の住民避難は困難なため、原発の再稼働はおこなわないこと。
- 4) 原発を運転する東京電力は、過去より現在まで柏崎刈羽原発において、施設の不具合に対する隠蔽、改ざん、虚偽報告を繰り返し、原発の運転停止命令を2回も受けている。2020年に発覚した核物質防護体制と施設の不備については、原子力規制庁の調査で極めてずさんな管理がなされていた実態が明らかとなっている。このことが、自ら定めた原子炉の保安規定に違反しており、東京電力は原発を運転する適格性を有していないことが明らかである。このため、原発の運転を認めず、早期に原発の設置許可を取り消すべき。
- 5) ロシア軍はウクライナへの攻撃で、切尔ノブイリ原発やザポリジエ原発を標的にし、あるいは占領し、軍事基地化することによって核汚染の脅威を世界中に与えている。また、原発がミサイル攻撃に無力であり、戦争時に最も危険な施設となるため、早期に廃炉にし、すべての核物質を撤去すること。

内閣総理大臣 岸田文雄様

原発事故被害者団体連絡会

代表 武藤類子

要望書

- 1、福島第一原子力発電所内の、「ALPS 処理汚染水」の海洋放出計画を直ちに撤回し、安全な陸上保管方法と根本的な地下水の止水を検討すること。
- 2、原発事故による避難者の生活実態の調査を国が行い、避難者が生活を再建し、精神的な苦痛が治癒するまで、必要な支援を的確に行うこと。
- 3、福島第一原発 1 号機の圧力容器ペデスタルの損傷状況を早急に調査し、必要な対策を行うこと。



理由

東電福島第一原発事故により、夥しい量の放射性物質が流れ出し、海を汚染し続けています。これ以上人為的に、汚染された水を海洋放出し、環境を汚染することは許されません。海は、ミクロネシアの大統領が書簡で訴えたように、「この決定(海洋放出)がもたらす影響は国境を越え、世代を越えるもの」なのです。海洋放出計画を破棄し、陸上保管を行いつつ、根本的な止水について検討して下さい。

現在福島では、復興の喧伝がされる中、被害者、避難者への支援は徐々に打ち切られ、提供された避難住宅をさまざまな事情で退去することができない避難者が、福島県に 2 倍の家賃を請求されたり、裁判に訴えられたりしています。原発事故の避難者を国内避難民として位置づけ、原発を推進してきた国が責任を持って最後の一人が自立できるまで、支援を続けて下さい。

今年 5 月に、福島第一原発 1 号機に入ったカメラが、圧力容器ペデスタルのコンクリート部分がメルトダウンの高熱で溶け、鉄筋がむき出しになっている状態が分かる写真を撮影し、多くの福島県民は驚愕しました。この時、原子力規制委員長は「安全な状態ではない」とコメントしています。東電は耐震性に問題はないと言っていますが、震度 5 強の地震で原子炉が倒壊する可能性があるという専門家の指摘もあります。原発周辺が避難解除となり人が帰されている状態で、本当に安全なのかがとても心配です。早急に損傷状態を調査し、必要な安全対策を施して下さい。

内閣総理大臣

岸田文雄 様

原発反対福井県民会議

<申し入れ>

- ① 現在稼働中の老朽炉・美浜3号機を即時停止し、廃炉にすること。また、来年稼働予定の老朽炉・高浜1・2号機を廃炉にすること。
- ② 次世代原発の開発、とくに高遠炉の開発を止めること。



<理由>

若狭の15基の原発中、「フクシマ」以後7基（敦賀1号、美浜1・2号、大飯1・2号、原型炉のふげん・もんじゅ）が廃炉になりました。残りの敦賀2号、美浜3号、大飯3・4号、高浜1・2・3・4号の6基中、美浜3号機と高浜1・2号機は40数年の老朽原発であるにもかかわらず、上記①の現状にあります。

「最新の科学的・専門技術的知見」に基づき、原子力規制委員会のお墨付きを得たから—というのが、再稼働強行の最大の根拠です。が、田中俊一元規制委員長は、「新基準の適合性を認めたが、安全だとは申し上げていない」と何度も公言されています。

また、美浜・高浜両町の議会と町長、立地県の福井県の議会と知事の同意だけを盾に、さらには、50億円の交付金とその同意を取引して、国と関西電力は「国策民営」を地で行く老朽炉3機の稼働の強行突破をもくろんでいます。

30km 圏内 (UPZ) の住民が事故時の避難を指示されるのは、環境の放射線が平常の10000倍に相当する $500\mu\text{Sv}/\text{h}$ に達してからです。とくに美浜3号機の30km 圏内には、関西圏 1450万人の水源の琵琶湖の一部が含まれていますが、その飲食物の摂取制限が検討され始めるのは、放射能汚染度が平常の10倍を超えたたらです。（内閣府の原発防災・避難計画）ちなみに、上記3機が一年間無事故で稼働しても、その原子炉容器内の使用済み核燃料中には、控えめの計算でも、広島原爆 2000発分の死の灰と長崎原爆 60発分のプルトニウムが新たに生成・蓄積されることを忘れてはならないでしょう。

「もんじゅ」の失敗で実証済みの、プルトニウムにまつわる高遠（増殖）炉開発は、苦渋・苦闘をなめさせられてきた福井県民として断じて認めることができません。

若狭の住民、福井県民にとっては、原発が稼働している限り、つねに「緊急かつ重大」な事態に襲われる不安や危惧を抱かざるを得ず、安寧な日々とてありません。以上、当面の緊急課題にしばりましたが、県内の全原発の一日も早い廃炉と、原発に依存しない福井の明日こそ、わたしたちの願いです。

内閣総理大臣 岸田 文雄 様
経済産業大臣 西村 康稔 様
原子力規制委員会委員長 山中 伸介 様

2022年10月26日

要望書

日本が再エネ後進国になったのは、原発の既得権益を守ったからです。原発に頼らず、徹底した省エネと節電、そして「燃料を輸入しない発電設備」でのエネルギー自立をめざすこと。

ロシアによるウクライナ侵略により、原発が脅迫と軍事攻撃の対象となり、占拠されれば打つ手がなく、天然ガスなど外国に燃料を依存する危険性も明確になりました。燃やした以上の燃料を生み出せると宣伝した、高速増殖炉の実現を前提とした核燃料サイクル計画は、1995年の原型炉もんじゅの事故で終わっています。原発の再稼働は高レベル放射性廃棄物と膨大な温排水を発生すると共に、次の事故を起こすためのものでした、という結果になりかねません。地震多発国である日本での40年超え運転は危険な実験であり、地震のほとんどないアメリカと同等に長期間運転を考えることは無謀です。以下、要望します。

- 1、巨大カルデラ火山が連なる九州はそもそも原発を建設できる場所ではなく、国家による脅迫、攻撃の対象になることが明らかになり、テロ対策施設は軍事攻撃は想定していないことから、川内原発と玄海原発は直ちに停止すること。
- 1、福島原発事故の反省から、自民党、公明党も含む全会一致で採択した、運転期間40年で原則廃炉とする法律を骨抜きにせず、認可済みの4基は廃炉とし、60年を超える運転の検討も行わないこと。当然、10月12日に延長申請が出された川内原発も40年で廃炉とすること。
- 1、玄海原発3号機でプルサーマル運転が実施されているが、プルサーマル運転は原発をより危険にし、保管と処分がより困難な使用済みMOX燃料を生み出すだけであり、直ちに中止すること。
- 1、今年の冬の停電を確実に回避するには、節電で十分であり、原発はいつ停止するかわからないため、無理な稼働を求めないこと。
- 1、次世代革新炉の開発は、税金の無駄であり、取り組まないこと。
- 1、完成することができない六ヶ所再処理工場の安全対策工事は直ちにやめ、廃止を決定し、溜まっている高レベル放射性廃液のガラス固化のみ実施すること。
- 1、再エネの出力制限が拡大しないように、出力調整運転ができない発電設備としても劣悪な原発の運転は行わないこと。

川内原発30キロ圏住民ネットワーク

代表 高木 章次 stakagi51@yahoo.co.jp 090-9130-0995
事務局 896-0021 鹿児島県いちき串木野市住吉町134番地



要 望 書

総理大臣
岸田文雄様

2022年10月26日



脱原発政策実現全国ネットワーク

事務局ストップ・ザ・もんじゅ

1. 核燃料サイクル政策を中止して下さい

① 六ヶ所再処理工場の建設及び操業を中止してください

2021年12月内閣府は、日本海溝、千島海溝の巨大地震を想定発表し、その中で、六ヶ所村は震度6強と予想しています。震度6強は阪神淡路大震災クラスであり、ガルにして820~1500ガルとなり、大変に強い地震、津波となります。1300kmもの長大な配管は、ズタズタに破断され、中からプルトニウムや硝酸溶液等が噴出するでしょう。

・3000トンもの使用済燃料は、プールのひび割れによって、冷却水が流出し、果たして燃料管がどうなるのか実験されていません。

・211m³の高レベル廃液の貯槽タンクは、厚さわずか2.2cmと大変薄く、巨大地震の衝撃に耐えられるのか、実証されていません。

・重要な機器類や、送電線の損傷など、同時多発の重大事故が予想され、高濃度の放射能漏れのため、事故の収束は殆ど無理な状態に陥ることと思います。

・これ以上多額の費用を浪費して、この超危険なプロジェクトを続ける意味は皆無です。即刻中止して下さるよう強く要望いたします。

・あわせて、日米高速炉開発研究協力も、全く実用化の展望もなく、無意味です。中止してください。

② すでにある高レベル廃液の安定固化を急いで下さい。

六ヶ所村に211m³、東海村に340m³ある高レベル廃液は地球上の最も恐ろしい物体です。長年、ガラス固化に失敗し続けていますが、現行のガラス固化のみにこだわらず、大事故を防ぐため、もっと多様な方法を追求し、安定固化を急いで下さい。

2. 全ての原子力政策から撤退して下さい

今、時代は大きく変わろうとしています。

巨大地震、巨大噴火のみならず、テロの脅威、ミサイル攻撃の脅威が現実のものとして迫っています。

岸田首相は、3.11以後、政府が取ってきた基本姿勢「原子力依存からの脱却」を忘れたかのように「新增設、リプレース、再稼働、運転期間の延長」を表明されていますが、これは、自然災害の脅威や国際情勢を完全に無視した誤った考えです。もっと冷静に現実を見てください。

ロシアからの石炭石油輸入依存度は8%であり、この程度はフランスのように10%の省エネで十分補えます。新增設、リプレースは数十年もかかり、現状には全く役に立たず、完成したころには、人口減で余ってしまいます。危険で高い原子力を止めて、安くて安全な再エネの拡大に力を入れて下さい。これ以上、危険な核のゴミを増やさないよう再稼働も期間延長も絶対に止めて下さい。

3. 原発の使用済燃料の安全な保管を求めます

六ヶ所再処理工場の3000トンの使用済燃料も、全国の原発の使用済燃料も、自然災害やテロ、ミサイル攻撃の懸念の中で、存在そのものが大きな脅威となっています。事故を起こせば想像を絶する放射能が放出されてしまいます。一ヶ所集中保管を止め、リラッキングによるジルコニウム火災を防ぐため、一刻も早く、安全な保管を検討して下さい。但し、これはリスク低減のためであって、再稼働による新燃料を入れるのは、よりリスクを高めるのでもっての他です。厳禁して下さい。

映画「カタストロフィ」上映の報告

その1. 信濃三歩会

こちらは、きょう、さわやかな青空が拡がって秋を感じています。

遅くなりましたが、様々にお気遣い頂いた信濃町の三歩会の上映会が終わりました。

みんなの感想；アンケートに寄せられた感想などを Excel の添付ファイルでお送りします。



設問；「カタストロフィー」をご覧になっての感想をお聞かせください

原発に依存しない社会に一日も早くなつてほしい。

日本の自然災害が年々ひどくなつており、そのような状況の中、原発と再処理施設の存在に不安を持たない人はいないと思っています。それなのに……日本の政府の方々はノーワンなのでしょうか？ そういう方々に投票される方々は、これまたなぜ？ なのでしょう。どうすればSTOPをかけられるのか？ 子ども・孫のために、できることをやらねば、と毎日思っています。

なんとなく「危ない」と思っていたことを地震・津波・火山噴火の可能性と核廃棄物や廃液の危険性の莫大さを改めて認識させてもらえる映像でした。台湾まで拡がる危険や動物や植物を含め自然さえも破壊する、人間の制御できない「核」に何故しがみついているのか、目先の利益(?)に捕らわれている政策に怒り大切な問題をわかり易く映画にしてくださり、ありがとうございます。ただひとつ残念なのは、バックミュージックがナレーションと重なり聞き取りにくくなってしまった所です。

3.11の後、原発事故が起つた時に仙台に居ました。ヨーロッパ、アメリカ等の政府は日本を含む 200km 圏内の在住者を即ちに避難させた。日本では Melt Down が起きてても、まだ安全だという報道をしていました。アナウンサーは今でも科学報道に出てくる水野という人物でした。メルトダウンが起きて水素爆発が起きて福島で避難させたのは20km圏内でした。日本政府の無責任さ NHK の虚偽報道を決して信用しないこと・地球温暖化やウクライナへのロシアの侵攻をむしろ利用する形で、堂々と電力を原子力でという動きが強まっていると感じます。TV のコマーシャル等でもそこに登用されている俳優さん等も、一体どういう了見で出演しているのだろうと思います。また、平和で安全な暮らしを守るためにどうすれば良いのか、と思った。・再燃もんじゅのことは本当に疑問

この再処理工場を解体する技術があるのだろうか。事故や地震がなくても核施設を無事に解体することができないんじゃないだろうか。それも考えるとえらいことだと思う。

あー おそろしい映像でした。子や孫にこんなものは残せない！

すぐ忘れてしまう私たち。自分もみんなにも忘れないようにしたい。

核燃料サイクルはもんじゅの事故で終わっているものと思っていた。30兆円も注ぎ込んでまだやろうとしていることが信じられない。大変なことだと思う。

福島の処理が終わってもいないのにウクライナ戦争などを口実に原発を増やそうとしている。何とかできないか、と思う。

国葬でも統一教会にしても立派な政治家はいないのか、と思う。原発についてもあれだけ大きな事故を起こしたのに、まだやるのかと怒りを覚える。何の力もないけれどそんな感情だけは強く持っています。地震・津波もそうだが一番怖いのは火山噴火だと思う。過去に一回だけの火山の爆発で生物が絶滅したことがあったと聞く。そこに原発が加われば被害は途方もないものになる。それが分かっているのになぜ原発を続けるのか、と思う。

設問；DVD製作者「Stop ザ もんじゅ」に励ましをひと言どうぞ

多様な科学者の証言に裏付けられ、わかり易く教えて頂いたドキュメンタリーに感心しています。製作にはたくさんのご苦労があったと思いますが、すばらしい映画でした。ありがとうございます。

コンパクトに、理路整然とした内容で、とても分かりやすかったです。恐ろしいです。

知らない人々に知らせる活動に努力されていることに敬意を表します。核利用、核燃サイクルに反対していきましょう：戦争も、もちろん反対！

とても参考になりました。ありがとうございます。

その2. 千葉県松戸市

10月22日(土)、映画の上映と、小出裕章さんの講演で、セットにして、早くから準備し、取り組んで下さいました。

250人の予定が、当日は、280人もの参加があり。

実行委の吉野さんから、大好評で、大成功でしたと。

嬉しい報告を頂きました。ぜひ、各地でも!!





INFORMATION



11/20 (日) 13:30 リトミホール
さようなら原発 1000人集会
おじりマユ・ケン 今中哲ニエン
090-9879-9994

12/4 (日) 13:00 関電本店前
老朽原発運動かすた
15:00 リモテモアリ
090-1965-7120

11/26 (土) 13:30 エルシスター
原発・核燃から撤退を!
カトリナ・鎌田慧・守田敏也
072-843-1904

12/8 (木) 13:00 地裁前
関電株主代表訴訟
第4回 口答弁論
080-5342-4819

★ 年末カンペのお願い…遂に印刷機が老朽化してアシト! 代りに中古のコピー機を購入。秋の大さなごくみも続々、財政はかなりピンチです。ぜひ会費の納入とカンペのご協力をよろしく。 うばくん通販も、ぜひよろしくお願ひします。

★ 署名二通にご協力を…それぞれ、重要な署名です。メ切りに向かうよう、気をつけて、直接集約先へ送って下さい。

★ 意見広告にご協力を…まだの方は、(1月30日のメ切りまでに、額面を振り込んで頂ければ、紙面にお名前が載ります。(キリトリに注意!) ぜひ、聞けの方にも広めて下さい。12月以降も、カンペでよろしく。

★ 11.26 関西集会のチケットを…まだお持ちでない方は、電話予約でよろしくお願ひします。



脱原全国ネット会計報告 (9.8~10.31)

収入	
繰越金	327,656円
年会費	67,000円
カンパ	47,390円
計	442,046円
支出	
印刷費	46,158円
郵送費	42,820円
国會議員用資料	30,000円
院内集会経費	186,834円
(交通費補助、講師謝礼、資料など)	
家賃分担金(9月、10月分)	60,000円
雜費	13,000円
計	378,812円
繰越金	63,234円

後記 今回院内集会や国會議員宛のニュース等の取組のため支出がかなり増えました。

脱原全国ネットに会費またはカンパを下さった方

(9.8~10.31)

勝連弘務、夕子 生活クラブ生協・北海道 鈴木紀 平井達也 れいわ新選組ひょうご勝手連 手賀公一 佐原若子 佐野克行 富田寿一 新社会党大阪府本部 原発震災を考える堺の会 石井政子 安孫子発代 松井ミチエ 栗森卓生 黒部信一 津田信次 伊藤格 牛丸教子 柴橋圭介 麻生由一 州脇慶輔 小畑力雄 鹿渡英光 真砂万里 西山徳子 斎藤恵子 嶋田基昭 生駒晶 未来の福島こども基金 東播地域人権運動連合 井戸謙一 上田由紀 小野やよい 垂水正和 佐柄静枝 (順不同敬称略)

皆さまありがとうございました (会計 池尻京子)